

令和6年度 卓球部の指導方針等について

令和6年4月1日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	片桐 一樹			
副顧問	長田 彩里			
副顧問	宮永 健志			
副顧問	加藤 一博			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
障害者スポーツ大会や一般に開催される各種大会出場での勝利を目指して、日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
障害者スポーツセンターや各市町村で開催されるイベントや大会に積極的に参加し、地域での余暇利用、公共機関の利用等も含めた活動をおこなっていく。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、指導者の会議日程等を考慮しながら、週に3～4日間を原則とする。練習時間は平日1時間30分程度、休日に実施する場合は2時間30分程度を基本とし、意欲的に活動できるように工夫する。
- (2) 練習や試合等の計画
地域での練習会や大会、他校との練習試合等、日頃の練習の成果を発揮できる場を設け、技術や意欲の向上を図れるようにする。
練習試合については随時各校との調整をしていく。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、協調性、上下関係、社会でのルールやマナー等について日ごろから触れ、よりよい人格形成の一助となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
部長を中心とし、練習や試合など集団で行動できるようお互いに協力をしていく。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を図るために、保護者と連携をとりながら指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導

- ・科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問と外部指導員で共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
- ・運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
- ・顧問と外部指導員のそれぞれの役割について話し合い、共通理解を図った上で指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
- ・生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
前期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生歓迎会 ・仮入部期間
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・東京都障害者スポーツ大会参加（全員） ・知的障害者卓球教室（東京都障害者総合スポーツセンター）（任意）
	6	
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動推進週間（7月24日（水）～30日（火）） ・夏季休業中練習及び他校での練習試合 ・知的障害者卓球教室（東京都障害者総合スポーツセンター）（任意）
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動推進週間（8月19日（月）～23日（金）） ・夏季休業中練習及び他校での練習試合 ・join us！卓球大会参加（任意）
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障害者卓球教室（東京都障害者総合スポーツセンター）（任意）
後期	10	<ul style="list-style-type: none"> ・他校での練習試合
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障害者卓球教室（東京都障害者総合スポーツセンター）（任意） ・第8回東京都知的障害者卓球交流大会（全員）
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季休業中 練習及び他校との練習試合 ・知的障害者卓球教室（東京都障害者総合スポーツセンター）（任意）
	1	<ul style="list-style-type: none"> ・他校との練習試合 ・join us！卓球大会参加（任意）
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・東京CUP卓球大会（東京都障害者総合スポーツセンター）（任意）
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・春季休業中練習及び他校での練習試合